



▲11月9日 別府センター

## 「市民と市政を語る会」 市内10会場で開催

「市民と市政を語る会」を10月17日から11月9日まで市内10会場で開催し、381名の市民の皆さんの参加がありました。

今回は、平成18年度から向こう10年間のまちづくりの指針となる第5次枕崎市総合振興計画がスタートしたことから、その内容を中心として、本市の厳しい財政状況や行財政改革の取組等についても説明する場として開催しました。まちづくりなど市政全般について、市民の皆さんの意見・要望等をお聴きする大変貴重な機会となりました。

なお、今回、市民の皆さんからいただいた意見・要望等につきましては、十分に検討を行って、今後の市政に反映していきます。

ここに、市民の皆さんからの質問に対しての応答や意見・要望の主なものを紹介します。

### 【振興計画】

【質問】第5次枕崎市総合振興計画を実行していく上で何が一番大切であると考えられるか。

【回答】第5次枕崎市総合振興計画では、目指すべき都市像を「人と物が豊かに交流し、協働で築く活力創造都市」と定めた。厳しい財政状況にはあるが、「市民と行政の協働」を基本理念に、この計画の実現に向けて知恵を絞りながら最大限努力し、活力ある枕崎市を築いていきたい。

【質問】目指すべき都市像にある、人や物が豊かに交流するためには、南薩縦貫道をはじめとした広域的な道路交通ネットワークの整備が不可欠であると思う。このことについては、どうのような対応をとっていくのか。

【回答】今後、地方が発展していくためには交流人口の拡大がますます重要な時代となってくる。そこで、南薩縦貫道については、国土交通省をはじめとした関係機関への強力な要望活動等を継続し、知覧町から枕

崎市までの調査区間への早期格上げと一刻も早い全線の整備がなされるよう関係者と連携を図りながら努力していく。

【質問】食と健康をテーマとした観光の展開についてはどのように取り組んでいくのか。

【回答】海洋型の観光地づくりを基本に、かつおを中心とした水産物、さつまいもや黒豚などの農畜産物、焼酎などの食を観光資源とし、南浜館を拠点とした芸術文化活動やスポーツ体験などの健康づくりと一体となった「食と健康の観光地」として、多くの観光客・交流客が訪れる新しいタイプの観光振興策を展開していきたい。

### 【意見・要望】

●市は、何の計画にしても、計画を策定するまでは一生懸命になるが、これを実行に移す段階になったら取組が弱い。厳しい財政状況ではあるが、計画倒れにならないように努めてほしい。

●市民には、市職員の机上の考えとは、また違った視点での考えや知恵がある。

### 【行財政改革】

これらを取り入れながら、市民と行政が協働して計画を推進してほしい。

●企業や学校等を誘致し、枕崎を若者が歩く活気のあるまちにしてほしい。

●団塊の世代など、UターンやIターンを促進し、農業などの担い手として活躍してもらうような施策を進めてほしい。

●転入者が住みやすいまちづくりを進めてほしい。そうすれば枕崎の人口も増えるのではないかと。

●鹿児島空港などに枕崎の観光マップを配置するなど、県内外に枕崎を積極的にアピールしてほしい。

【質問】平成18年度に市立保育所が民営化されたが、今後の施設等の民間委託や民営化計画などの行財政改革の取組について教えてほしい。

【回答】本年3月に策定した「枕崎市行財政集中改革プラン」に基づき、民間委託等の推進や職員の定員管理・給与等の適正化など、行財政改革の主要課題について、

集中的かつ計画的に取り組んで成果を上げてきている。今後の施設の民営化等の計画については、養護老人ホーム妙見の里の民営化、学校給食センターの調理・運搬業務と学校用業務業務の委託化などの実施目標年度等を定めているので、実現に向けて取り組んでいく。

### 【意見・要望】

●このままでは枕崎市の財政は破綻してしまう。みんな力で力を合わせて健全化に向けて頑張してほしい。

●旧南薩線跡地など、市の所有する遊休資産については処分を進めて財源の確保を図りたい。

●飲酒運転による交通事故など公務員の不祥事が多発しているようだが、公務員は市民の模範となるような行動をとってほしい。

●窓口や電話の対応など、市民に対する接遇について職員への指導を徹底してほしい。

●どうしても自治体が運営しなければならぬという特別なものがなければ、市立病院などについても民営化を検討してよいのでは

### 【合併問題】

●市議会議員定数については、次期改選期には定数を4名減の18名にするようだが、議会も更に努力してほしい。

【質問】現状では他市町との合併は難しい状況にある。行財政改革を必死に行っていけば、単独でも行財政運営を行っていくのか。

【回答】これまでの三位一体の改革などの国の動きや少子・高齢化への対応、地方分権の進展や広域行政時代の到来などを考えた場合、このまま単独でやっていくことは大変厳しい行財政運営を強いられることが予想される。今後、継続して良い質な行政サービスを提供するために供給し、市民の皆さんの期待に応えていくためには、どうしても近い将来、合併は避けて通れないものと考えている。

したがって、合併への考え方・方針が変わりはなく、行財政改革を徹底して力強いまちづくりに取り組むとともに、市民の皆さんの意向を踏まえながら、次の機

会に對等な合併ができるように、今後とも努力を続けていきたい。

【質問】基本的には10万人以上の都市でなければ、県の権限委譲も進まないと思うが、今後は10万人以上の合併を目指していく考えがあるのか。

【回答】理想的には、国の示している10万人以上の合併を行って、権限委譲などの進んだ力強い自治体になっていかなければならないと思う。しかしながら、現実的には、南さつま市や指宿市については合併したばかりであり、須賀町、知覧町、川辺町の3町は合併の協議中であることから、急に10万人以上の合併とはいかないと思っている。

### 【意見・要望】

●須賀町、知覧町、川辺町の3町による新市が誕生した後には合併を進める場合でも、対等な合併ができるようにしてほしい。

●近年、道州制が議論されており、いずれ合併は避けられない問題であるので、道州制を踏まえた検討を行うてほしい。

### 【その他市政全般】

●将来的には、薩摩半島が一つの市となるような合併論議がなされることも予想される。その時まで、行政と議会が一体となって徹底した行財政改革に取り組んでほしい。

【質問】社会福祉協議会の福祉給食サービス事業に係る不正流用問題については、市の調査結果の報告後も、多くの指摘がなされているようである。今後、それらの指摘事項については、どう対応していくのか。

【回答】9月議会の決算委員会等で市の調査結果に矛盾点がある指摘された点について、今後、弁護士や公認会計士などの専門家に調査を依頼し、更に調査を行うていく。

【質問】市内小中学校のいじめ問題の現状と対策についてはどうなっているのか。

【回答】各学校でのアンケート調査や聞き取り、教師による観察、保護者からの通報、派出所や民生委員、

公民館長への聞き取りなど、アンテナを張り巡らして可能な限りの情報収集等を行っている。現在、深刻ないじめの問題や解決に長期を要するような問題等の報告はなされていないが、今後もしも危機感をもって対応していきたい。

【質問】市外から転入してきた者に対して、ごみ収集の説明も含めた市民サービス面での対応が不十分である。

●防災行政無線と公民館の無線放送施設（戸別受信機）との連動はできないか検討してほしい。

●堆肥センターについては、夜から朝にかけて特に臭いがひどいので、抜本的な改善対策を講じてほしい。

●市民、行政、議会が一体とならなければ良いまちづくりはできない。市政を語る会について、今後は行政だけでなく議会の参加もあつたらよいと思う。